

令和4年度 i-stepジュニア グッドjob 業務改善計画

◆検討を行った内容

- ・環境、体制整備について
- ・業務改善に向けた取り組みについて
- ・適切な支援の提供について
- ・関係機関、保護者様との連携について
- ・保護者様への説明責任等について
- ・非常時の対応について

◆各項目で出された意見

【環境、体制整備について】

- ◎玄関前石積み部分で石が外れて怪我につながる可能性がある。
→同部分に関してはコンクリートタイルにて補修を行う。(補修済み)
- ◎外構部分や駐車場に解消可能な段差や溝がある。
→外構部分の段差や溝など、怪我や事故につながる恐れのある部分について要修繕。
- ◎更衣室内のレイアウトを利用者に不安のない形にしたい。
→カーテンパーテーションの設置や掃除用具入れの設置などで対応を検討。

【業務改善に向けた取り組みについて】

- ◎新規入職者への基本的な業務内容についての研修を充実させたい。
→法人内研修の充実に向けた取り組みが現在進行中。(職業倫理や交通安全、報酬制度について)
- ◎社内職員同士での勉強会の開催をしていきたい。
→定期的な開催に向けて検討。また支援の質向上につながる情報共有の方法についても要検討。

【適切な支援の提供について】

- ◎月の活動立案について、計画的に進めていきたい。
→活動予定の原案、検討の日程を決め、職員全体で活動立案に取り組める体制づくりを行う。
- ◎療育支援において必要な図書や物品、設備を充実させたい。
→月次・年次の予算を検討した上で、必要な物品に関しては適宜購入していく。
- ◎保護者様との療育に関する面談を進めて行きたい。
→社内での体制整備を進め、年度内を目処に開始していく。

- ・関係機関、保護者様との連携について
 - ◎進学に伴って在籍校が変わる場合の引き継ぎや連携体制を作っていくことが難しい。
 - 関係する市内相談支援事業所との連携の強化を図りつつ、セルフプランの利用者様については保護者様からの求めに応じて柔軟な対応、連携体制の構築に努める。

- ・保護者様への説明責任等について
 - ◎半年に一回、せめて年度替わりのタイミングだけでも会報誌等の交付が必要ではないか
 - 障がい部門総務開発で作成、配布に向けて検討する。

- ・非常時の対応について
 - ◎事故報告書及びヒヤリハット報告書の活用をしていきたい
 - ヒヤリハットの報告書に関しては、いわき市障がい福祉課からの監修もいただきながら、より簡易に提出をしやすい方向で検討中。より実効性の高い取り組みにしていきたい。

 - ◎災害備蓄を増やしていきたい
 - 簡易トイレ等の防災グッズに関しては1セットそろえているものの、飲料水や非常用食料などの備蓄にはまだ不安がある。年度内で少しずつ補填していきたい。

◆改善目標

- ①月次活動内容の決定の仕方を明確にし、職員全員で関われるような体制づくり
- ②余暇活動の充実
- ③保護者様との面談の実施
- ④法人内研修の実施

◆目標達成のための改善策

- ①【月次活動内容の決定の仕方を明確にし、職員全員で関われるような体制を作る】
 - ・活動予定の検討、決定を行う日程を月ごとに予め決めておき、毎朝の申し送りやミーティングの時間を使って、職員全員が関われる形での活動立案を行う。

- ②【余暇活動をより充実させる】
 - ・利用者用のPCの設置、図書や雑誌、知育玩具やボードゲーム等の設備の充実を図る。

- ③【保護者様との面談の実施】
 - ・個別支援計画の更新やモニタリング時期に合わせた適切なタイミングでの面談が行えるよう、職員の配置や時間設定などの体制整備を確実に進める。

- ④【法人内研修の実施】
 - ・障がい部門総務開発が主体となって進めている、新人研修及び法定研修、その他スキルアップのための取り組みに協力する形でその都度実施していく